

社会をサバイブする 共同体をつくる

私たちはデザインを通じて、複雑で多様な社会を生き抜く共同体をつくることを目指します。

私たちは、この社会に生きづらさを感じています。しかし、仲間と共に目の前にある問題にひとつずつ向き合うことで、この社会を共同体としてサバイブできると考えます。共同体は社会を共に生き抜いていくために重要な仲間との連帯であり、その社会を変えることのできるネットワークだと信じています。

私たちは、世の中の様々な場所でデザインを通じて共同体を生み出し、独自のアプローチからたくさんの仲間と社会をより良くしていけるように多様なアクションを展開させます。

私たちは、自らの専門性を軸に、4つに分類される
具体的で広範なアクションを展開させていきます。

パブリケーション

私たちはあらゆるメディアを駆使して、人々の活動をサポートしていきます。最初の企画段階から途中の編集段階まで、そして印刷物として完成させるためのグラフィックデザインから印刷まで行います。また印刷物に限らず、webメディアから映像メディアまで幅広く扱っています。

- #印刷 リソグラフ印刷機を用いて、フライヤーや冊子などあらゆる印刷物を作成します。
- #出版 自費出版誌（HUMARIZINE）の発刊を続けると同時に、これまでの知見を生かし、あらゆる出版活動を支援します。
- #企画編集 私たち独自のネットワークや切り口、専門性をもって、タウンペーパーからデザインなどの専門誌まで企画し、編集します。
- #批評 デザイン・建築・都市・芸術といった領域への考察から、社会を写し出すテキストをあらゆるメディアで執筆します。
- #写真映像 テキストのみならず、写真や映像というメディアを駆使したドキュメンテーションを通じ、記録と作品をつくります。

サーキュラーデザイン

私たちは環境問題に向き合い、新しい資源の循環を設計し、そのサイクルの中でもものづくりを行います。単なるものづくりに終始せず、使われる素材や廃棄されることを考えながら制作に取り組みます。個人のみならず集団もエンパワーメントすることで、新しい循環を支える仕組みから設計します。

- #マテリアル 都市で自然素材やバイオ素材などを採集し、これらを用いたマテリアルを開発し、新しい利用方法を提案します。
- #ゴミ ゴミや廃材を再び資源として集め、こうした廃棄物を転用したプロダクトや空間を設計します。
- #修理 あらゆるものにサステナブルに向き合い続けるために、家具や建物から都市の構造までを修理します。
- #食品 廃棄された食品を地域で堆肥化し、地産地消の新しいサイクルをつくることで、地域コミュニティを盛り上げます。

建築・都市

私たちはまちに存在するあらゆる問題に向き合い、市民や行政とともに問題を乗り越えていくために、幅広く建築と都市のデザインに取り組みます。市民とともに活動を展開し、コミュニティを形成・運営します。こうした活動を持続可能にするために、まちづくりや政策にまでアプローチします。

- #空間デザイン 個人の想いやチャレンジを空間的に支援するために、住宅や店舗、ワークスペースなどの空間を設計します。
- #公共空間 都市のなかで私たち市民の場所を生み出していくために、ストリートファニチャーのデザインからイベントの企画・運営も行います。
- #ローカル まちに開かれた場所やコミュニティの企画・運営から、社会的弱者を地域で支援する仕組みを設計します。
- #まちづくり まちのビジョンや開発に市民の声を反映させるための調査の実施やワークショップの開催とファシリテーションをします。
- #行政 建築や都市に関する専門的な知見や先進的なリサーチを通じて、都市計画や政策のレベルで提案を行います。

キュレーション

私たちは多様な人々との連携を通じて、複雑な社会のなかに新しいアクションとパースペクティブを生み出していきます。東京から世界までという地理的なスケールから、芸術から社会までという学問的なスケールも横断しながら、あらゆるものごとを再編して、これからのありうべき社会を思索します。

- #インターナショナル 通訳や翻訳といったコミュニケーションのサポートから、国際的なプロジェクトへの参画まで行います。
- #ネットワーク デザイナー・建築家・アーティストなどとの協働を行うと同時に、積極的にコラボレーションに参加します。
- #イベント 新しい繋がりがりや価値観、プロジェクトを生み出していくために、イベントの企画や運営を行います。
- #展覧会 社会や人々に新しいまなざしを提供するために、あらゆる作品や事例、情報のキュレーションを行います。

私たちは、複雑で多様な社会のなかでデザインを実践していくための態度として、大切にしている3つのアプローチがあります。

偶発性と身体性

私たちは日々の生活の中で偶然に出会ったものや人、そして身の回りにあることや自分の身体が根付いていることを大事にしています。偶発性と身体性を持ちながらデザインすることによって、社会のリアリティに向き合ったデザインを生み出すことができると考えます。

小さいけれど継続的

私たちは小さくても何かを続けていくこと、そしてそこから育まれていく物事を大事にしています。一度に大きな変化を生み出すことを目指すのではなく、その場その時に即したアクションを継続的に行うことで、少しずつより良い社会を目指すことができると考えます。

リサーチとアーカイブ

私たちは物事の質的な関係性を理解しながら調査し、生の情報とプロセスを記録し積み重ねていくことを大事にしています。アーカイブを辿っていくことにより、リサーチを取りこぼさないその場に本当に必要なデザインができると考えます。

寺内 玲

- 1997 静岡県長泉町出身
- 2020 慶應義塾大学 環境情報学部 卒業
- 2022 IaaC, Master in Design for Emergent Futures 修了

都市デザイナー・リサーチャー。都市の中の循環に関する研究を行う。特にコンポストを用いて廃棄食品を循環させることや、その循環を生み出すためのコミュニティやプラットフォームづくりに興味をもち、実践を行う。

松岡 大雅

- 1995 東京都狛江市出身
- 2019 慶應義塾大学 環境情報学部 卒業
- 2021 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 修了

アーキテクト・リサーチャー。廃棄物を用いた制作に関する研究を行う。特につくること自体と、その行為が環境や循環、資本主義社会とどのように関わりを持ち得るのかに興味をもち、実践を行う。

- 2016~18 慶應義塾大学 SFCにて Student Build Campus プロジェクトに参加
グラフィックを中心にデザイン全般に取り組む
- 2018~19 同大学・小林博人研究会にてベニアハウスプロジェクトに参加
デジタルファブリケーションを用いた建築設計を行う
- 2019~ 自費出版誌「HUMARIZINE（ヒューマライズン）」の制作開始
年1冊の雑誌の企画・編集・出版を続ける
- 2021~22 多摩川河川敷にて結婚式を開催
スペイン・バルセロナに転居し共同生活を送る
- 2023~ デザイン事務所 studio TRUE を開始

web

<https://studio-true.net>

mail

info@studio-true.net

address

201-0013
東京都狛江市元和泉 1-18-6

instagram

[studio.true.2023](https://www.instagram.com/studio.true.2023)